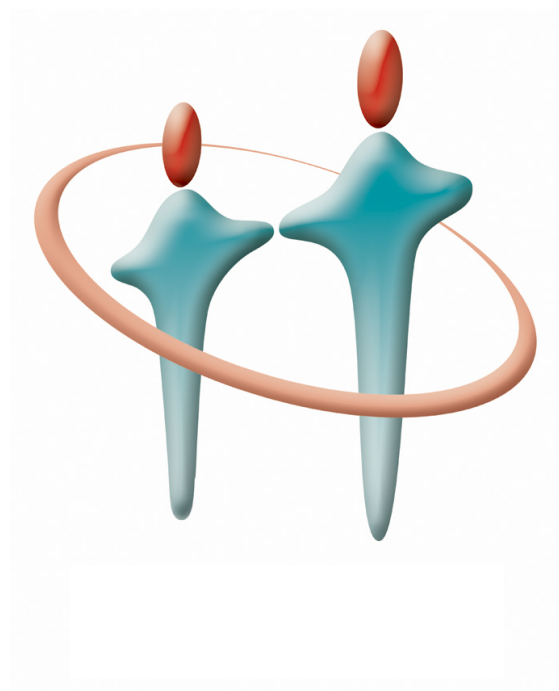


2024 年度 事業報告/決算報告



公益社団法人
日本人間ドック・予防医療学会

目 次

(事業報告)

I. 序章(事業計画、役員／社員／会員数等)	2
------------------------------	---

(公益目的事業)

II. 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会(開催概要、主要プログラム)	5
III. 学会誌等(和文誌、英文誌)	13
IV. 認定医制度(認定・更新者数)	13
V. 専門医制度(認定試験、指導医・研修施設 認定数)	13
VI. 健診施設機能評価(認定施設数、サーベイヤ研修会、Ver.4.0 受審準備セミナー)	14
VII. 研修会・人材育成活動	15
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	
3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成	
4. 健診事務職の育成	
VIII. 統計調査に関する事業	17

(収益事業等)

IX. 健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業	17
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	
2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業	
3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約	
X. その他の事業(相互扶助等事業)	17
1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業	

(決算報告) 2025年3月31日 現在

1. 貸借対照表・貸借対照表内訳表	20
2. 正味財産増減計算書・正味財産増減計算書内訳表・財務諸表に対する注記	22
3. 財産目録・附属明細書	25

事業報告

＜事業報告＞

I. 序 章

1. 事業計画

1) 学術大会開催に関する事項

第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会

開催期日：2024年9月6日(金)～7日(土)

WEB開催：2024年10月8日(火)～28日(月) 21日間

会 場：パシフィコ横浜

テーマ：「明日からの未来へ 人生を支える健診」

学術大会長・石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）

2) 研修会等開催に関する事項（Webによる配信を基本とする）

- ① 人間ドック健診認定医・専門医研修会（Webによる配信）
- ② 人間ドック認定医研修会（Webによる配信）
- ③ 健診施設機能評価 Ver.5.0 受審準備セミナー開催（現地開催と Webによる配信）
- ④ 人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（Webによる配信）
- ⑤ 人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（現地開催と Webによる配信）
- ⑥ 遺伝学的検査アドバイザー研修会（学術大会時現地開催と Webによる配信）
- ⑦ 健診事務職育成セミナー（Webによる配信）
- ⑧ 人間ドックの日記念セミナー（現地&後日 WEBによる配信）
- ⑨ 健診施設支援セミナー（年数回 WEBによる配信）
- ⑩ 地域交流セミナー（京都・仙台・福岡）

3) 日本人間ドック・予防医療学会認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

（本学会単独事業）

- ① 日本人間ドック・予防医療学会認定医の認定/更新

（日本総合健診医学会との合同事業）

- ① 人間ドック健診専門医試験の実施
- ② 人間ドック健診専門医の認定/更新
- ③ 人間ドック健診指導医の（暫定）認定/更新
- ④ 人間ドック健診研修施設の（暫定）認定/更新
- ⑤ セルフトレーニング問題の実施 他

4) 健診施設機能評価に関する事項

- ① 健診施設機能評価の審査・認定
- ② 健診施設支援
- ③ サーベーターの教育・研修
- ④ Ver.5.0 作成に向けた検討
- ⑤ 機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析

5) 人間ドック健診情報管理指導員/遺伝学検査アドバイザーに関する事項

- ① 人間ドック健診情報管理指導士の認定/更新
- ② 遺伝学的検査アドバイザーの認定

6) 集合契約に関する事項

- ① 特定健診・特定保健指導の集合契約（集合契約A）
- ② 風しんの抗体検査および風しんの第6期の定期接種に係る集合契約

7) 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ① 人間ドック健診施設との人間ドックの指定契約
- ② その他

8) 広報活動に関する事項

- ① 学会誌「日本人間ドック・予防医療学会誌」VOL.39 NO.1～NO.5 発刊予定

- ②英文誌「Journal of Ningen Dock and Preventive Medical Care」VOL.12 NO.1 発刊予定
*英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1~2回とする
- ③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJSTAGEに登載する
- ④メディア等を利用して国民に向けた意見広告等の広報活動を積極的に展開する

9)委員会活動に関する事項

I.事業活動

- ①健診施設機能評価・支援事業委員会
 - ・機能評価事業運営WG(事業部門)
 - ・Ver5.0作成WG
 - ・受審施設支援企画・作成WG
 - ・Ver5.0運営WG
- ②健診情報管理指導士育成事業委員会
- ③人間ドック学会認定医制度委員会
- ④人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会合同)
 - ・試験問題検討・作成(問題集改訂)小委員会(合同)
 - ・認定小委員会(合同)
 - ・研修会検討小委員会(合同)
 - ・施行規則細則改定小委員会(合同)
 - ・研修プログラムカリキュラム検討作成小委員会(合同)
- ⑤遺伝学的検査アドバイザー育成事業委員会
- ⑥健診事務職育成事業委員会
- ⑦編集委員会
- ⑧学術大会運営委員会
- ⑨健診施設実態調査委員会
- ⑩がん検診実態調査委員会

II. 健診・予防医療施設の質の向上と発展を支援する活動

- ⑪健診保健師・看護師の育成に関する委員会

III. 健診・予防医療のシステムや有用性などを研究する活動

- ⑫女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会
 - ・婦人科健診(検診)WG
- ⑬高齢者のための健診・予防医療のあり方検討委員会
- ⑭人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会
 - ・がん検査判定・精度管理WG
 - ・判定区分ホームページ改訂WG
- ⑮内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会
- ⑯人間ドック・健診イノベーション創造委員会
 - ・ゲノムワイド遺伝学的検査WG
 - ・AI実装WG
 - ・リキッドバイオプシー及び新規検査検討WG
 - ・睡眠健診WG
- ⑰健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会
- ⑱健診・予防医療統計調査研究委員会
- ⑲検査安全・適正実施基準作成委員会
 - 医療面接WG聴力検査WG眼科検査WG生理検査・採決WG腹部超音波検査WG/消化器X線検査WG内視鏡検査WG乳房検査WG婦人科検査WG/ペニックス値・変化WG職種・業務WG

IV. その他の活動

- ⑳総務委員会
- ㉑広報委員会
- ㉒社員選任役員選定委員会
- ㉓倫理・利益相反委員会

その他必要とされる委員会には逐次開催する。

10)統計・調査に関する事項

- ①がん症例実態調査(2022年度)の実施
- ②学術委員会研究に関わる研究公募（継続および新規）
- ③その他
 - ・厚労省等研究事業等に参画

11)関連する学会（団体）との積極的な参画と交流活動

- ・健診団体連絡協議会
- ・日本医学健康管理評価協議会
- ・日本専門医機構
- ・日本高血圧学会
- ・日本CT検診学会
- ・全国労働衛生団体連合会
- ・MEJ（一般社団法人Medical Excellence JAPAN）
- ・日本人間ドック健診協会
- ・日本病院会健診事業推進委員会
- ・日本適合性認定協会臨床検査室認定委員会
- ・日本肥満学会

12)その他

- ・日本医学会加盟への働き掛け
- ・健診標準フォーマットの普及啓発
- ・国際モダンホスピタルショウへの参加

2. 役員／社員／会員数等

①役員数等 理事長 1名
副理事長 2名
理事 34名
監事 3名
(名誉会員) 22名

②社員数 260名(内役員は38名)

③個人会員／施設会員／賛助会員数(2025年3月31日現在)

A会員 (医師)	6,275名
B会員 (医師以外)	497名
C会員 (施設 (医療機関))	1,868施設
S会員 (企業など)	33団体

④その他

・ 日本人間ドック・予防医療学会認定医・専門医数及び指導医、研修施設数(2025年3月31日現在)

認定医交付人数	6,643名
専門医交付人数	2,284名
研修施設数	311施設
指導医数	1,085名
暫定研修施設 (指導医) 数	141施設 (106名)

・ 人間ドック健診情報管理指導士累積人数	12,241名
・ 人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名
・ 健診施設機能評価認定数	427施設
・ 遺伝学的検査アドバイザーの累積人数	660名
・ 人間ドック実施指定施設数	358施設

(公益目的事業)

II. 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会

1. 開催概要

1. 開催日程 (ハイブリット開催)

【現地開催】2024年9月6日(金)～7日(土)

【Web開催】2023年10月8日(火)～28日(月) 21日間

2. 開催会場 パシフィコ横浜

3. 学術大会長 石坂裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

4. メインテーマ 「明日からの未来へ 人生を支える健診」

5. 開催内容

学術大会長講演	1セッション (1演題)
理事長講演	1セッション (1演題)
特別講演	2セッション (2演題)
厚生労働省講演	1セッション (1演題)
教育講演 (オンデマンド配信のみ)	6セッション (6演題)
学会名変更記念シンポジウム	1セッション (4演題)
シンポジウム	5セッション (23演題)
特別企画	3セッション (8演題)
現地参加者アンケート型特別企画	2セッション (2演題)
特別企画 統計	1セッション (1演題)
健康症例から考えるシリーズ	1セッション (1演題)
Meet the Expert	2セッション (2演題)

- 事務特別企画 1セッション
 事務職営業職グループワーク 1セッション (1演題)
 遺伝学的検査アドバイザー研修会 1セッション (3演題)
 産業医講習会 1セッション (2演題)
 一般演題 (プレナリー含む) 89セッション (439演題)
 (口頭発表275演題(内プレナリー6演題、基調講演4演題)、
 ポスター発表120演題(内プレナリー6演題)、
 ポスタープレゼンテーション44演題(内プレナリー8演題))
 共催セミナー 21セッション (24演題)
 計 140セッション (521演題)
6. 参加登録者数 6111名 (内有料5,239名)
 事前参加登録 4,513名 (会員医師2,528名・会員非医師1,582名・非会員403名)
 現地当日参加登録 499名 (会員医師222名・会員非医師178名・非会員99名)
 オンデマンド配信登録 227名 (会員医師199名・会員非医師15名・非会員13名)
 招待者 177名
 共催セミナー企業 (21社) 210名
 展示企業 (97社) 485名
7. 現地会場参加人数(概数)
 9月6日(金) 約1,800名 (来場者受付: 2,769名)
 9月7日(土) 約1,600名 (来場者受付: 659名)
 2日間延べ 3,400名
 ※現地会場滞在人数 (ランチョンセミナー時バーコードカウントに基づき集計)
8. 市民公開講座
 2024年9月8日 (日) 14:30~15:30 参加人数: 180名
 「知るを愉しむ」
 演者: 小平奈緒 (相澤病院)
 座長: 石坂裕子 大会長

2. 主要プログラム

■開会式

■理事長講演

「日本人間ドック・予防医療学会への学会名称変更を踏まえた学術的思考の重要性
 —学術論文投稿の意義—」

座長: 石坂裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

演者: 荒瀬康司 (日本人間ドック・予防医療学会理事長/
 虎の門病院付属健康管理センター顧問/戸塚ロイヤルクリニック)

■学術大会長講演

「明日からの未来へ 人生を支える健診」

座長: 桝田 出 (三菱京都病院 糖尿病内科・人間ドック科 顧問/国立病院機構
 京都医療センター臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部
 客員研究員/医療法人財団康生会康生会クリニック 内科)

演者: 石坂裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

■特別講演1

「先端イメージングによる脳の機能と病態の理解」

座長: 石坂裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

演者: 岡部繁男 (東京大学 大学院医学系研究科 神経細胞生物学 教授)

■特別講演2

「未病対策としての緩やかな糖質制限食・ロカボの可能性」

座長: 土屋 敦 (医療法人社団相和会理事長)

演者: 山田 悟 (北里大学北里研究所病院院長補佐・糖尿病センター長)

■厚生労働省講演

「女性の健康対策について」

座長: 那須 繁 (特定医療法人財団博愛会理事長)

演者: 大坪寛子 (厚生労働省健康・生活衛生局局長)

■教育講演1

「心血管のIgG4関連疾患—疑わしい所見と気をつけるべき鑑別疾患」

演者：石坂信和（同愛記念病院健診センター）

■教育講演2

「知っているようで知らない放射線被ばくについて」

演者：井上快児（埼玉医科大学病院放射線科）

■教育講演3

「健康診断での感染対策」

演者：龍野桂太（三井記念病院感染制御部）

■教育講演4

「透析患者と健康診断」

演者：三瀬直文（三井記念病院腎臓内科）

■教育講演5

「片側顔面痙攣・三叉神経痛の診断と治療」

演者：尼崎賢一（三井記念病院脳神経外科）

■教育講演6

「歯科健診の重要性について 全身の健康と関連する歯科疾患」

演者：山本秀樹（公益社団法人日本歯科医師会）

■学会名変更記念シンポジウム

「学会が目指す学術活動の方向性」

座長：荒瀬康司（虎の門病院健康管理センター顧問／ロイヤルクリニック）

那須 繁（特定医療法人財団博愛会理事長）

演者：

「学術活動のさらなる活性化を目指して」

岩男 泰（慶應義塾大学予防医療センター特別招聘教授）

「学術活性化に向けてー編集委員会の立場も含めてー」

井上和彦（一般財団法人淳風会淳風会健康管理センターセンター長）

「（こころの）若い先生方へー論文書こうぜー」

福井敏樹（医療法人如水会オリーブ高松メディカルクリニック院長）

「学会主導の健診・予防医療統計調査研究の概要と展望」

桝田 出（三菱京都病院糖尿病内科・人間ドック科顧問／国立病院機構

京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部客員

研究員／医療法人財団康生会康生会クリニック 内科）

■シンポジウム1

「職域における任意型がん検診の価値ー現状と将来ー」

座長：吉田 稔（日本赤十字社熊本健康管理センター所長）

高谷典秀（医療法人社団同友会理事長）

演者：

「任意型がん検診の現状人間ドック学会会員へのアンケート調査結果報告（第一報）」

吉田 稔（日本赤十字社熊本健康管理センター所長）

「職域によるがん検診の現状と今後の課題」

棟重卓三（健康保険組合連合会参与）

「健康経営や両立支援の観点から」

高谷典秀（医療法人社団同友会理事長）

「職域における任意型乳がん検診は、「公正な」乳がん検診を提供すべきである」

植松孝悦（静岡県立静岡がんセンター乳腺画像診断科部長）

「人間ドックにおける全大腸検査ー大腸内視鏡とCT colonographyの活用ー」

満崎克彦（済生会熊本病院予防医療センターセンター長）

■シンポジウム2 日本整形外科学会合同シンポジウム

「高齢者健診の未来フレイル・ロコモ対策のために人間ドック・健診施設ができること

～広げよう！ロコモ健診～」

座長：森山 優（医療法人大宮シティクリニック 副所長）

石橋英明（医療法人社団愛友会伊奈病院整形外科副院長／整形外科科長）

演者：

「健診施設におけるロコモ健診を含めた体力測定の実践と今後の広がり」

加藤公則（新潟大学大学院医歯学総合研究科生活習慣病予防・健診医学講座

特任教授／新潟県労働衛生医学協会理事）

「ロコモティブシンドローム対策の重要性とこれからの展開」

石橋英明（医療法人社団愛友会伊奈病院整形外科副院長／整形外科科長）
「当院における人間ドックへのロコモ健診導入の実践」
代田 翠（三井記念病院総合健診センター医長）
「人間ドック受診者全員への実施結果から考える：ロコモ度テストの重要性と展望」
中川 良（医療法人大宮シティクリニック理事／
千葉大学大学院医学研究院次世代予防医療創生講座特任准教授）

■シンポジウム3

「予防医療におけるMCIの考え方—MCIの治療戦略—」
座長：櫻井靖久（三井記念病院総合健診センター／たくま内科・神経内科クリニック）
演者：
「軽度認知障害（MCI）—概念の変遷と診断—」
櫻井靖久（三井記念病院総合健診センター／たくま内科・神経内科クリニック）
「脳小血管病画像マーカーとMCI」
薬師寺祐介（関西医科大学神経内科学講座主任教授）
「予防医療におけるMCIの考え方—MCIの治療戦略—」
新井哲明（筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学教授）
「認知症の危険因子としての生活習慣病」
小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域脳神経内科学教授）
「身体機能と認知症」
清水聡一郎（東京医科大学高齢総合医学分野主任教授）

■シンポジウム4

「正しく優しい人間ドック上部消化管内視鏡スクリーニングの普及を目指して」
【内視鏡スクリーニングあり方検討委員会】
座長：井上和彦（一般財団法人淳風会淳風会健康管理センターセンター長）
演者：
「受診者に優しい内視鏡スクリーニング」
青木利佳（公益財団法人とくしま未来健康づくり機構
徳島県総合健診センター 内視鏡検査室長）
「上部消化管内視鏡検査によるH.pylori感染と胃炎診断」
鎌田智有（川崎医科大学健康管理学教授／
川崎医科大学総合医療センター総合健診センターセンター長・部長）
「H.pylori未感染胃癌，除菌後（既感染）胃癌の対策」
吉村理江（特定医療法人財団博愛会人間ドックセンターウェルネス
ウィメンズウェルネス天神所長）
「食道がん、咽喉頭がんのリスクと内視鏡診断」
間部克裕（まへ五稜郭消化器・内視鏡クリニック院長）
「非乳頭部十二指腸腸重瘍の現状と診断」
満崎克彦（済生会熊本病院予防医療センターセンター長）

■シンポジウム5

「女性と健康」
座長：野原理子（東京女子医科大学統合教育学修センター基礎教育学（公衆衛生学）教授）
大本由樹（虎の門病院付属健康管理センター医長）
演者：
「女性の健康に与える社会的要因」
野原理子（東京女子医科大学統合教育学修センター基礎教育学（公衆衛生学）教授）
「健康保険組合における働く女性の健康支援」
小松原祐介（健康保険組合連合会参事（保健担当））
「社会における女性ヘルスケアの現状と問題点」
山上 亘（慶應義塾大学医学部産婦人科教授）
「女性のライフステージと健康課題～内分泌代謝医の立場から」
森 典子（三井記念病院内分泌内科部長）

■特別企画1

「睡眠健診の可能性と予防医療」
座長：杉森裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科／
大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科予防医学教授）
中山健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授）

演者：

「人間ドック施設を対象とした睡眠健診に関するアンケート調査結果より」
杉森裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科／
大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科予防医学教授）

「在宅終夜EEG/EOG/EMG+SpO₂計測から見えて来たこと」
柳沢正史（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPHIS））
「腕の動きに基づく睡眠覚醒判定法ACCEL法の開発とその応用」
大出晃士（東京大学大学院医学系研究科機能生物学専攻講師）

「健診施設における睡眠評価」
高谷典秀（医療法人社団同友会理事長）
「特定健診・特定保健指導のこれから：睡眠健診の可能性を考える」
中山健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授）
「人間ドックにおける睡眠ドック導入経験」
鈴木英雄（つくば消化器・内視鏡クリニック 院長）

■特別企画2

「やっぱり楽しい 健診看護2024 高齢者の健康寿命を延ばす」
健診保健師・看護師の育成に関する委員会】
座長：新 智文（東京慈恵会医科大学教授／帯広厚生病院）
ファシリテーター：
光畑桂子（公益財団法人筑波メディカルセンターつくば総合健診センター看護部長）
佐藤さとみ（慈恵医大晴海トリトンクリニック 看護主任）

■特別企画3

「受けてよかった機能評価」
座長：石坂裕子（三井記念病院総合健診センターセンター長）
演者：宮田 明（公益財団法人中国労働衛生協会福山本部健診センター 理事長）
笠原典彦（一般財団法人芙蓉協会聖隷沼津第一クリニック
聖隷沼津健康診断センター事務長）

■現地参加者アンケート型特別企画1

「めざせ！安全な健診」
座長：和田高士（日本医療・健康情報研究所所長）
石坂裕子（三井記念病院総合健診センターセンター長）
基調講演：
「めざせ！安全な健診—医療の質・安全学の動向と健診への応用」
小松康宏（板橋中央総合病院副院長）
コメンテーター：
櫻井健一（日本歯科大学附属病院乳腺内分泌外科 教授）
井上和彦（一般財団法人淳風会淳風会健康管理センターセンター長）

■現地参加者アンケート型特別企画2

「集え！健診看護職！」
ファシリテーター：
佐藤さとみ（慈恵医大晴海トリトンクリニック 看護主任）
赤塚 紀子（医療法人財団慈生会野村病院予防医学センター看護科主任）
金山由美子（三井記念病院総合健診センター看護部チーフ）
矢島 有希（武蔵野赤十字病院看護師）

■【医師交流】特別企画 統計

「健診データの分析」
司会：山崎 聡（三井記念病院総合健診センター 医長）
小川和雅（医療法人財団慈生会野村病院予防医学センター 所長補佐）
演者：「健診データ分析による研究発表のヒント」
阿江竜介（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授）

■健診症例から考えるシリーズ

「①心電図」
座長：和田高士（日本医療・健康情報研究所所長）
演者：
「一味違う心電図の読み方にチャレンジ—その自動判定で十分？
（モーニングレクチャー）」

石坂信和（同愛記念病院健診センター健診センター長）

■ Meet the Expert 1

「疾病の予防は治療に優る」への挑戦

座長：金山由美子（三井記念病院総合健診センター看護部チーフ）

演者：鳥羽山睦子（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部顧問）

■ Meet the Expert 2

「人間ドック・予防医療学会と会員の皆さんに期待すること」

座長：平林和子（社会医療法人財団慈泉会相澤健康センター副センター長）

演者：相澤孝夫（社会医療法人財団慈泉会理事長／相澤病院最高経営責任者）

■ 事務特別企画

「楽しく！ 広げる！ 文化にしよう！ 自分達の接遇マナー講座 実践編！」

司会：廣島淳子（三井記念病院総合健診センター）

河野貴徳（三井記念病院総合健診センター）

講義者：

山川 陽子（調布東山病院 ドック健診センター事務部 副部長／

レセプションコンシェルジュ マネージャー）

五箇谷亜子（調布東山病院 ドック健診センター 事務主任／

レセプションコンシェルジュ 接遇マナーインストラクター）

準備サポート：篠部 誠

（調布東山病院 在宅予防医療統括部 統括部長／東山健診グループ 本部長）

■ NPO法人日本人間ドック健診協会特別企画

「2024年度 事務職・営業職グループワーク」

ファシリテーター：NPO法人日本人間ドック健診協会 健診施設経営研究会

渡邊紀章（医療法人社団同友会春日クリニック）

内田健作（医療法人社団こころとからだの元氣プラザ）

廣瀬篤史（公益財団法人東京都予防医学協会）

奥平直人（杜の都産業保健会）

本多尚人（札幌健診センター）

グループワークテーマ：

- 1) 閑散期の対応・工夫
- 2) キャンセル対応
- 3) 各施設のドックの運用方法と注意事項
- 4) 価格見直しの方策
- 5) DXやシステム（WEB問診・予約）導入
- 6) 他社との運用の違いと自社で活かす方法
- 7) 人材育成
- 8) フリートーク

■ 第7回遺伝学的検査アドバイザー研修会

座長：古川佳子（国際医療福祉大学成田薬学部／山王メディカルセンター教授）

演者：

「健診でファブリー病を早期診断するには？」

山川裕之（慶應義塾大学医学部予防医療センター／慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師）

「遺伝情報を知ってがんを予防する

～多遺伝子パネル検査（Multi Gene Panel Testing）と予防医療～」

平沢 晃（岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学分野教授）

「遺伝情報に基づく多因子疾患発症リスク評価と健康行動」

西垣昌和（国際医療福祉大学大学院遺伝カウンセリング分野教授）

■ 産業医講習会

座長：杉森裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科／

大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科予防医学教授）

武藤繁貴（社会福祉法人聖隷福祉事業団保険事業部聖隷健康診断センター所長）

講師：

「産業保健で知っておくべき眼科領域の話題」

中野 匡（東京慈恵会医科大学眼科学講座主任教授）

「働く人への睡眠保健指導」

中嶋義文（三井記念病院精神科部長）

■ プレナリーセッション（口頭発表）

座長：岩男 泰（慶應義塾大学予防医療センター特別招聘教授）

演者：

「健康診断時の高値血圧と心血管疾患発症の関連－12年間の健診データ追跡から－」

前田健吾（医療法人松柏会 国際セントラルクリニック）

「超音波による脂肪肝分類の有用性に関する検討」

尾崎みち子（近畿健康管理センター 三重事業部）

「健診データを用いた日本人の内因性インスリン分泌能についての検討」

山崎 聡（三井記念病院 総合健診センター）

「MedCity21人間ドックコホートバンクを用いたmiRNA網羅的解析・早期肺がんマーカーの開発」

木村達郎（大阪公立大学 大学院医学研究科 先端予防医療学 MedCity21）

「CKDガイドライン2023に示されている健診から医療機関への紹介基準の妥当性とその改善策に関する検討」

本間千智（新潟県労働衛生医学協会）

「高齢者のサルコペニア・ダイナペニアにおける異所性脂肪としての脂肪筋についての検討」

良本佳代子（独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院 健康診断部 糖尿病内科）

■ プレナリーセッション（ポスター発表）

座長：岩男 泰（慶應義塾大学予防医療センター 特別招聘教授）

演者：

「任意型婦人科検診における経膈超音波検査の有用性」

青木史恵（医療法人社団 慈誠会 人間ドック会館クリニック）

「当施設の任意型乳がん検診の現状」

園尾広志（社会医療法人生長会ベルクリニック 医療診療部）

「健診センターにおける歯科保健指導」

松浦英夫（耳原総合病院 健診科）

「大腸がん発症リスク予測のための1次スクリーニング検査」

「プロトキー@大腸がんリスク検査」の臨床性能評価」

吉見智彦（株式会社プロトセラ）

「健診施設における胃内視鏡検査室での急変対応の取り組みについて」

ー鎮静剤による副作用：呼吸抑制の事例を通してー」

東 美咲（社会医療法人 博愛会 さがらパース通りクリニック 看護部）

「当施設における橈骨と腰椎大腿骨の骨密度の相関について」

～骨密度測定部位を変更した経験より～」

野沢滋幸（聖隷健康サポートセンターShizuoka）

■ プレナリーセッション1（ポスタープレゼンテーション）

座長：土屋 敦（医療法人社団相和会理事長）

演者：

「健診結果の迅速報告を目的とした業務改善の実例及び、その効果の検証」

佐藤 薫（一般社団法人衛生文化協会城西病院）

「人間ドックVIPコーディネーター活動報告」

岡田恭子（一般財団法人淳風会 淳風会倉敷クリニック・淳風会健康管理センター倉敷）

「当センターが取り組んだ効果的な業務改善について」

～人間ドック健診内容の充実化と業務効率化の両面から～」

松本浩行（医療法人社団 董会 伊川谷病院 総合健康管理センター）

「検査進捗状況の可視化による待ち時間短縮と人員配置の適正化への取り組み」

高橋 忍（牧田総合病院 健診プラザOmon）

■ プレナリーセッション2（ポスタープレゼンテーション）

座長：松木隆央（医療法人社団健松会理事長）

演者：

「2040年を展望した新設フレイルドックの取り組みと課題」

篠原裕枝（地方独立行政法人 新小山市市民病院 予防医学センター）

「当会オリジナルの健康診断予約システムによる業務改善の報告」

山根麻央（一般財団法人京都工場保健会神戸健診クリニック）

「ロコモ度テスト無償実施に関する当院の運用とコストに関する報告」

亀谷招弘（医療法人 大宮シティクリニック）

「予防医療における「地域医療エコシステム」構築を目指して：地域のクリニックと人間ドック施設の発展的連携」

橋本竜司（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院付属予防医療プラザ）

■ 市民公開講座

「知るを愉しむ」

座長：石坂裕子（三井記念病院総合健診センターセンター長）

演者：小平奈緒（相澤病院）

■閉会式

III. 学会誌等

1. 和文誌「日本人間ドック・予防医療学会誌」（年5回）

VOL.39 NO. 1 2024. 6（原著論文集・学術大会開催案内）

VOL.39 NO. 2 2024. 8（学術大会プログラム・抄録集）

VOL.39 NO. 3 2024. 9（原著論文集）

VOL.39 NO. 4 2024. 12（原著論文集・学術大会開催案内）

VOL.39 NO. 5 2025. 3（原著論文集・学術大会開催案内）

2. 英文誌「Journal of Ningen Dock and Preventive Medical Care」（年1回）

VOL.12 NO. 1 2025. 3（原著英文誌）

IV. 日本人間ドック・予防医療学会認定医制度

1. 第26回認定医認定

日本人間ドック・予防医療学会認定医制度は、2024年4月1日以降の認定者数は196名であり、認定医交付総数として6,643名となった。

2. 第21回認定医更新

日本人間ドック・予防医療学会認定医制度（更新）は、2024年4月1日以降の更新者数は291名であり、更新者総数は5,606名である。

V. 人間ドック健診専門医制度

1. 2024年度人間ドック健診専門医認定試験

日 時：2024年10月20日（日） 1300～1500

会 場：品川フロントビル 地下1階会議室（東京都港区港南 23-13）

受験対象者：日本人間ドック・予防医療学会 117名（日本総合健診医学会：18名）両学会合計 135名

試験内容：試験問題集等 計100問出題 100分間 マークシート方式による筆記試験

◆認定者数：日本人間ドック・予防医療学会 115名（日本総合健診医学会：18名）両学会合計 133名

認定期間は、2025年4月1日～2030年3月31日 5年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数（ドック学会累計）：2,284名】

2. 2024年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

◆指導医：日本人間ドック・予防医療学会 32名（総合健診医学会：9名）両学会合計 41名

◆研修施設：日本人間ドック・予防医療学会 2施設（総合健診医学会：3施設）両学会合計 5施設

◆暫定指導医：日本人間ドック・予防医療学会 5名（総合健診医学会：6名）両学会合計 11名

◆暫定研修施設：日本人間ドック・予防医療学会 7施設（総合健診医学会：6施設）両学会合計 13施設

委嘱認定期間は、2025年4月1日～2030年3月31日 5年間をもって委嘱終了とする。

VI. 健診施設機能評価

2025年3月末現在、有効な認定施設は427施設である。

1. 健診施設機能評価 認定施設数

北海道	12	東京都	67	滋賀県	3	香川県	4
青森県	2	神奈川県	25	京都府	16	愛媛県	5

岩手県	2	新潟県	7	大阪府	31	高知県	2
宮城県	10	富山県	4	兵庫県	19	福岡県	19
秋田県	4	石川県	4	奈良県	3	佐賀県	0
山形県	3	福井県	4	和歌山県	2	長崎県	4
福島県	3	山梨県	1	鳥取県	1	熊本県	5
茨城県	5	長野県	14	島根県	2	大分県	3
栃木県	7	岐阜県	7	岡山県	12	宮崎県	1
群馬県	7	静岡県	9	広島県	12	鹿児島県	4
埼玉県	14	愛知県	27	山口県	2	沖縄県	5
千葉県	20	三重県	9	徳島県	2	海外	3

【認定施設の分布】※2025年3月末現在

(1) サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップと交流を目的とし、毎年研修会を開催している。2024年度は下記のとおり実施した。

- ・日 時：2024年9月5日（木）1300～1600
- ・会 場：パシフィコ横浜会議センター
- ・参加費：無料 ※交通費補助金支給あり
- ・内 容：Ver.50の説明
- ・参加者：78名（医師34名／事務36名／看護系8名）

(2) 公式講習会

健診施設機能評価の受審予定施設を対象に、現地参加の公式講習会を開催した。

- ・日 時：2024年5月16日（木）1330～1630
- ・会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEARTホール 8B
- ・参加費：1施設 10,000円（2名まで参加可）
- ・内 容：Ver.50の説明
- ・参加者：104施設（188名）

(3) Ver.50受審準備セミナー

健診施設機能評価の受審予定施設を対象に、Ver.50受審準備セミナーをWEB配信した。

- ・配信期間：2024年11月12日（火）～2025年1月31日（金）
- ・視聴料：10,000円
- ・申込数：102施設

VII. 研修会・人材育成活動

1. 日本人間ドック・予防医療学会認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第64回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 程：WEB2024年8月19日（月）～9月2日（月）

開催方法：WEB オンデマンド配信

参加者数：1,544名（認定医等953名・専門医591名、うち総合健診専門医21名）

「腰痛診療の現状」

「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズムプラスα」

「医療安全と医療倫理について」

●第65回人間ドック健診認定医・専門医研修会

配信期間：2024年11月15日（金）～11月29日（金）

開催方法：WEB オンデマンド配信

参加者数：1,280名（認定医等842名・専門医438名、うち総合健診専門医49名）

「肝臓がんの診断と治療」

「肥満症をめぐる話題—肥満症診療の新時代を迎えて」

「なぜあの人は受診しない？ ナッジで一歩動かす」

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会（対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	配信期間	方 法	認定者	内 訳
第42回	2024年5月31日（金） ～7月1日（月）	オンデマンド配信	367名	医師：47名 保健師：205名 管理栄養士：58名 (修了者：57名)
第43回	2025年1月17日（金） ～2月17日（月）	オンデマンド配信	296名	医師：44名 保健師：162名 管理栄養士：32名 (他修了者：58名)

【2024年度 オンデマンド配信版プログラム】

「特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み」
「生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識」
「エネルギー収支を改善するための保健指導」
「食生活に関する保健指導の実際」
「身体活動に関する保健指導の実際」
「特定健診・特定保健指導における保険者との連携」
「行動変容に関する理論と実践」
「喫煙・飲酒習慣者への保健指導」
「特定保健指導で役立つ口腔保健の知識」
「人間ドック健診におけるがん検診その現状と展望」

演習：保健指導方法の研究

「初回面接のビデオ学習による演習」
「初回面接の記録について」
「継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）」
○受講者からの質問への回答と演習のフィードバック配信（後日配信）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会（対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	開催日程配信期間	参加者数	内 訳
第71回	2024 年 7 月 27 日（土） 会場：品川フロントビル会議室	112名	医師：32名 保健師：63名 管理栄養士：17名
第72回	2024 年 11 月 6 日（水） ～11月25日（月）	911名	医師：312名 保健師：455名 管理栄養士：144名
第73回	2025 年 1 月 24 日（金） ～2月12日（水）	568名	医師：97名 保健師：357名 管理栄養士：114名

【2024年度プログラム】

「適応が広がる生活習慣病関連薬と一般用医薬品への対応」
「明日から役立つ睡眠指導」
「事例検討」
(演習テーマ：生活習慣改善に関心はあるが、リバウンドを繰り返す人への保健指導)
(事例提供)

- ・ワーク1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク2 対象者への支援方法について
 - ・事例における食生活に関するポイント講義
 - ・事例における身体活動・運動に関するポイント講義
 - ・事例における喫煙に関するポイント講義

- ・事例のその後と演習のまとめ

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成

認定対象（医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師）

参加登録者：211名

第7回遺伝学的検査アドバイザー研修会（第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会特別企画）

配信期間：2024年10月8日(火)～28日(月)

参加方法：現地開催、オンデマンド配信

プログラム

- 1.健診でファブリー病を早期発見するには
- 2.遺伝情報を知ってがんを知る
～多遺伝子パネル検査（Multi Gene Panel Testing）と予防医療～
- 3.遺伝情報に基づく多因子疾患発症リスク評価と健康行動

4. 健診事務職の育成

【基礎編】

回	受付・配信期間	参加者数
第1回	2024年4月3日～2024年6月30日	311名
第2回	2024年7月1日～2024年9月31日	258名
第3回	2023年12月1日～2024年2月29日	276名

【発展編】

回	受付・配信期間	参加者数
第1回	2024年5月1日～2024年7月31日	353名
第2回	2024年8月1日～2024年10月31日	102名
第3回	2023年12月1日～2024年2月28日	208名
第4回	2023年12月1日～2024年2月28日	195名

VIII. 統計調査に関する事業

- ・がん症例実態調査(2022年度)の実施

調査依頼期間：2024年8月～2024年11月30日

調査対象：健診施設機能評価認定施設

調査回収率：60.6%

(収益事業等)

IX. 健診施設他団体等への紹介や指定等に関する事業

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2025年3月末現在の指定施設数：358施設

2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業

○令和6年度特定健康診査・特定保健指導集合契約A参加保険者及び参加健診施設

- ◆健康保険組合連合会 北海道新聞社健康保険組合 他
- ◆全国健康保険協会（協会けんぽ）
- ◆一般社団法人共済組合連盟（国家公務員共済組合）
衆議院共済組合・参議院共済組合・厚生労働省共済組合・裁判所共済組合
会計検査院共済組合・厚生労働省第二共済組合・林野庁共済組合・日本郵政共済組合
- ◆一般社団法人地方公務員共済組合協議会（地方公務員共済組合）
地方職員共済組合・公立学校共済組合・警察共済組合等の市町村職員共済組合他
- ◆日本私立学校振興・共済事業団
- ◆全国土木建築国民健康保険組合
- ◆全国建設工事業国民健康保険組合
- ◆全国歯科医師国民健康保険組合
- ◆近畿税理士国民健康保険組合

◆岡山県建設国民健康保険組合

◆福島県

○集合契約A参加健診施設数

・当学会：1,341施設 日本病院会：374施設

3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約

2025年3月末現在の契約参加施設数：2034施設

X. その他の事業(相互扶助等事業)

1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度より新規事業として、人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから学術委託研究を公募しており、2024年度は3研究を採用。

決算報告

2025年3月31日 現在

貸借対照表

2025年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	250,890,814	245,746,252	5,144,562
未収金	479,010	300,000	179,010
前払金	9,164,064	8,627,028	537,036
立替金	238,800	47,600	191,200
貯蔵品	3,480,400	3,788,400	308,000
流動資産合計	264,253,088	258,509,280	5,743,808
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的保有特定資産	100,000,000	100,000,000	0
特定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) その他固定資産			
建物	1,806,114	2,033,446	227,332
什器備品	2,137,372	3,988,048	1,850,676
ソフトウェア	0	26,400	26,400
その他固定資産合計	3,943,486	6,047,894	2,104,408
固定資産合計	103,943,486	106,047,894	2,104,408
資産合計	368,196,574	364,557,174	3,639,400
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	628,717	18,428,613	17,799,896
未払消費税等	3,764,100	3,561,400	202,700
前受金	16,510,000	14,060,000	2,450,000
預り金	655,516	1,155,944	500,428
賞与引当金	6,680,501	6,633,380	47,121
流動負債合計	28,238,834	43,839,337	15,600,503
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,073,010	3,185,257	1,887,753
固定負債合計	5,073,010	3,185,257	1,887,753
負債合計	33,311,844	47,024,594	13,712,750
正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	263,799,917	246,447,767	17,352,150
一般正味財産合計	263,799,917	246,447,767	17,352,150
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
正味財産合計	334,884,730	317,532,580	17,352,150
負債及び正味財産合計	368,196,574	364,557,174	3,639,400

貸借対照表内訳表

2025年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	44,221,994	5,712,320	200,956,500	0	250,890,814
未収金	0	457,350	21,660	0	479,010
前払金	8,341,662	42,342	780,060	0	9,164,064
立替金	0	0	238,800	0	238,800
貯蔵品	3,480,400	0	0	0	3,480,400
流動資産合計	56,044,056	6,212,012	201,997,020	0	264,253,088
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	0	100,000,000
特定資産合計	100,000,000	0	0	0	100,000,000
(2) その他固定資産					
建物	1,580,350	112,882	112,882	0	1,806,114
什器備品	475,327	0	1,662,045	0	2,137,372
長期預け金	0	0	71,197,695	71,197,695	0
その他固定資産合計	2,055,677	112,882	72,972,622	71,197,695	3,943,486
固定資産合計	102,055,677	112,882	72,972,622	71,197,695	103,943,486
資産合計	158,099,733	6,324,894	274,969,642	71,197,695	368,196,574
負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	55,500	573,217	0	628,717
未払消費税等	3,681,872	81,621	607	0	3,764,100
前受金	16,510,000	0	0	0	16,510,000
預り金	510,822	20,671	124,023	0	655,516
賞与引当金	5,121,717	222,683	1,336,101	0	6,680,501
流動負債合計	25,824,411	380,475	2,033,948	0	28,238,834
2. 固定負債					
退職給付引当金	3,889,308	169,100	1,014,602	0	5,073,010
長期預り金	71,084,813	112,882	0	71,197,695	0
固定負債合計	74,974,121	281,982	1,014,602	71,197,695	5,073,010
負債合計	100,798,532	662,457	3,048,550	71,197,695	33,311,844
正味財産の部					
1. 基金					
基金	0	0	71,084,813	0	71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	57,301,201	5,662,437	200,836,279	0	263,799,917
一般正味財産合計	57,301,201	5,662,437	200,836,279	0	263,799,917
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(0)	(0)	(0)	(100,000,000)
正味財産合計	57,301,201	5,662,437	271,921,092	0	334,884,730
負債及び正味財産合計	158,099,733	6,324,894	274,969,642	71,197,695	368,196,574

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用収益	5,013	5,000	13
特定資産受取利息	5,013	5,000	13
受取会費	119,786,000	119,770,000	16,000
個人会員受取会費	64,676,000	64,000,000	676,000
施設会員受取会費	54,150,000	54,780,000	630,000
賛助会員受取会費	960,000	990,000	30,000
事業収益	254,014,735	225,728,844	28,285,891
学術大会参加収益	58,640,000	53,206,000	5,434,000
学術大会展示出店料収益	31,964,135	23,687,544	8,276,591
学術大会共催セミナー収益	26,230,000	15,980,000	10,250,000
認定医・専門医研修会事業収益	29,465,000	31,475,000	2,010,000
専門医試験・認定事業収益	7,352,000	6,776,000	576,000
認定医認定・更新事業収益	8,830,000	10,475,000	1,645,000
情報管理指導士研修認定事業収益	40,878,000	45,134,000	4,256,000
遺伝的検査アドバイザー事業収益	738,000	440,000	298,000
機能評価審査・認定事業収益	34,200,000	26,650,000	7,550,000
指定事業収益	1,820,000	2,268,000	448,000
雑誌販売事業収益	2,385,000	1,026,500	1,358,500
健診事業職員育成事業	11,512,600	8,610,800	2,901,800
受取寄付金	0	4,499,500	4,499,500
受取寄付金	0	4,499,500	4,499,500
雑収益	10,170,024	9,110,394	1,059,630
受取利息	52,988	626	52,362
広告掲載料収益	2,483,800	3,694,600	1,210,800
雑収益	7,633,236	5,415,168	2,218,068
経常収益計	383,975,772	359,113,738	24,862,034
(2) 経常費用			
事業費	293,754,763	318,034,036	24,279,273
給料手当	52,097,092	53,988,410	1,891,318
法定福利費	9,372,003	6,901,325	2,470,678
退職給付費用	3,632,901	2,378,062	1,254,839
旅費交通費	20,932,648	24,037,252	3,104,604
通信運搬費	13,157,033	14,060,338	903,305
減価償却費	683,592	1,090,657	407,065
広告費	242,000	0	242,000
消耗品費	3,803,856	3,848,798	44,942
印刷製本費	33,384,849	50,572,885	17,188,036
光熱水料費	588,406	557,348	31,058
賃借料	52,240,208	34,357,719	17,882,489
会議費	5,715,389	6,409,296	693,907
保険料	3,340	0	3,340
諸謝金	13,962,861	14,264,509	301,648
租税公課	8,051,900	5,720,600	2,331,300
委託費	73,796,571	96,179,521	22,382,950
支払助成金	1,760,000	2,820,000	1,060,000
雑費	330,114	847,316	517,202
管理費	72,868,859	44,234,330	28,634,529
給料手当	13,624,274	10,127,365	3,496,909
法定福利費	2,343,002	1,217,882	1,125,120
退職給付費用	908,222	419,658	488,564
福利厚生費	810,920	622,230	188,690
旅費交通費	13,557,110	11,395,150	2,161,960
通信運搬費	3,351,056	2,663,790	687,266
減価償却費	1,581,196	1,826,364	245,168
広告費	253,000	1,078,000	825,000
消耗品費	3,245,166	1,431,035	1,814,131
印刷製本費	1,438,612	1,338,919	99,693
光熱水料費	147,102	98,357	48,745
賃借料	9,977,316	2,470,369	7,506,947
会議費	12,013,587	907,513	11,106,074
保険料	554,727	438,643	116,084
諸謝金	979,473	50,000	929,473
租税公課	186,510	95,900	90,610
委託費	6,939,248	7,176,441	237,193
渉外費	193,815	152,558	41,257
雑費	764,523	724,156	40,367
経常費用計	366,623,622	362,268,366	4,355,256
当期経常増減額	17,352,150	3,154,628	20,506,778
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	4,114,928	4,114,928
資産除売却損	0	4,114,928	4,114,928
当期経常外増減額	0	4,114,928	4,114,928
当期一般正味財産増減額	17,352,150	7,269,556	24,621,706
一般正味財産期首残高	246,447,767	253,717,323	7,269,556
一般正味財産期末残高	263,799,917	246,447,767	17,352,150
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
正味財産期末残高	334,884,730	317,532,580	17,352,150

正味財産増減計算書内訳表

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会

(単位: 円)

I. 一般正味財産増減の部		科目	公益目的事業会計							収益事業等会計				法人会計	内部取引 控除	合計
			①学術大会・国際学会	②学会誌	③技能検定・資格認定(認定医・専門医・機能評価)	④資格付与(情報管理・食生活改善指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	②その他事業	共通	小計			
【1. 経常増減の部】																
(1) 経常収益																
1. 特定資産運用益	1601	特定資産受取利息	0	0	0	0	0	5,013	5,013	0	0	0	0	0	0	5,013
2. 受取会費	1101	個人会員受取会費	0	0	0	0	0	32,338,000	32,338,000	0	1,820,763	0	1,820,763	30,517,237	0	64,676,000
	1102	施設会員受取会費	0	0	0	0	0	27,075,000	27,075,000	1,467,937	0	0	1,467,937	25,607,063	0	54,150,000
	1103	賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	480,000	480,000	0	0	0	0	480,000	0	960,000
3. 事業収益	1201	学術大会参加収益	58,640,000	0	0	0	0	0	58,640,000	0	0	0	0	0	0	58,640,000
	1202	学術大会展示出店料収益	31,964,135	0	0	0	0	0	31,964,135	0	0	0	0	0	0	31,964,135
	1203	学術大会共催セミナー収益	26,230,000	0	0	0	0	0	26,230,000	0	0	0	0	0	0	26,230,000
	1204	認定医・専門医研修会事業収益	0	0	29,465,000	0	0	0	29,465,000	0	0	0	0	0	0	29,465,000
	1205	専門医試験・認定事業収益	0	0	7,352,000	0	0	0	7,352,000	0	0	0	0	0	0	7,352,000
	1206	認定医認定・更新事業収益	0	0	8,830,000	0	0	0	8,830,000	0	0	0	0	0	0	8,830,000
	1207	情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	0	40,878,000	0	0	40,878,000	0	0	0	0	0	0	40,878,000
	1208	遺伝的検査「ドバイザ」事業収益	0	0	0	738,000	0	0	738,000	0	0	0	0	0	0	738,000
	1209	機能評価審査・認定事業収益	0	0	34,200,000	0	0	0	34,200,000	0	0	0	0	0	0	34,200,000
	1210	指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	1,820,000	0	0	1,820,000	0	0	1,820,000
	1211	雑誌販売事業収益	900,000	27,000	1,458,000	0	0	0	2,385,000	0	0	0	0	0	0	2,385,000
	1212	国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1213	健診事務職員育成事業	0	0	11,512,600	0	0	0	11,512,600	0	0	0	0	0	0	11,512,600
4. 受取補助金等	1301	助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1302	補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 受取寄付金	1401	受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1402	受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 雑収益	1501	受取利息	52,086	0	0	0	0	0	52,086	0	0	0	0	902	0	52,988
	1502	広告掲載料収益	1,595,000	888,800	0	0	0	0	2,483,800	0	0	0	0	0	0	2,483,800
	1503	雑収益	0	300,271	2,055,000	188,000	0	922,591	3,465,862	3,902,330	0	0	3,902,330	265,044	0	7,633,236
〔経常収益計〕			119,381,221	1,216,071	94,872,600	41,804,000	0	60,820,604	318,094,496	7,190,267	1,820,763	0	9,011,030	56,870,246	0	383,975,772
(2) 経常費用																
1. 事業費	2101	給料手当	3,256,068	2,170,712	26,048,546	9,768,205	5,969,459	2,713,390	49,926,380	2,170,712	0	0	2,170,712	0	0	52,097,092
	2102	法定福利費	585,750	390,500	4,686,002	1,757,251	1,073,875	488,125	8,981,503	390,500	0	0	390,500	0	0	9,372,003
	2103	退職給付費用	227,057	151,371	1,816,449	681,169	416,270	189,214	3,481,530	151,371	0	0	151,371	0	0	3,632,901
	2104	福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2105	旅費交通費	4,003,284	1,958,330	10,894,354	1,494,690	551,720	2,020,870	20,923,248	0	9,400	0	9,400	0	0	20,932,648
	2106	通信運搬費	255,060	8,830,452	1,493,641	1,651,733	297,000	520,204	13,048,090	76,943	32,000	0	108,943	0	0	13,157,033
	2107	減価償却費	11,366	7,578	90,933	60,500	496,165	9,472	676,014	7,578	0	0	7,578	0	0	683,592
	2108	広告費	242,000	0	0	0	0	0	242,000	0	0	0	0	0	0	242,000
	2109	消耗品費	3,543,586	175,680	23,385	200	34,600	26,405	3,803,856	0	0	0	0	0	0	3,803,856
	2110	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2111	印刷製本費	3,743,055	17,424,891	5,057,906	6,686,084	137,672	189,610	33,239,218	145,631	0	0	145,631	0	0	33,384,849
	2112	光熱水料費	36,775	24,517	294,203	110,326	67,422	30,646	563,889	24,517	0	0	24,517	0	0	588,406
	2113	賃借料	40,470,364	677,111	5,478,010	2,054,569	690,245	2,618,911	51,989,210	250,998	0	0	250,998	0	0	52,240,208
	2114	会議費	4,333,172	90,500	246,138	51,626	160,878	833,075	5,715,389	0	0	0	0	0	0	5,715,389
	2115	保険料	0	0	3,340	0	0	0	3,340	0	0	0	0	0	0	3,340
	2116	諸謝金	3,286,030	189,329	6,962,502	2,405,000	0	1,120,000	13,962,861	0	0	0	0	0	0	13,962,861
	2117	租税公課	3,641,531	36,668	2,895,199	1,275,721	0	28,155	7,877,274	174,626	0	0	174,626	0	0	8,051,900
	2118	委託費	36,133,472	8,397,002	9,374,837	8,848,285	8,477,271	2,537,585	73,768,452	12,551	15,568	0	28,119	0	0	73,796,571
	2119	支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,760,000	0	1,760,000	0	0	1,760,000
	2120	雑費	6,710	204,305	62,570	14,674	26,235	10,230	324,724	1,595	3,795	0	5,390	0	0	330,114
2. 管理費	2201	給料手当												13,624,274	0	13,624,274
	2202	法定福利費												2,343,002	0	2,343,002
	2203	退職給付費用												908,222	0	908,222
	2204	福利厚生費												810,920	0	810,920
	2205	旅費交通費												13,557,110	0	13,557,110
	2206	通信運搬費												3,351,056	0	3,351,056
	2207	減価償却費												1,581,196	0	1,581,196
	2208	広告費														

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産
建物

定率法(ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備は定額法)
定率法

什器備品

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

15年

什器備品

4年～10年

無形固定資産
ソフトウェア

定額法

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	100,000,000
合 計	100,000,000	0	0	100,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	-	100,000,000	-
合 計	100,000,000	-	100,000,000	-

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	4,021,800	2,215,686	1,806,114
什 器 備 品	13,366,212	11,228,840	2,137,372
合 計	17,388,012	13,444,526	3,943,486

5 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 金	71,084,813	0	0	71,084,813
基 金 計	71,084,813	0	0	71,084,813
合 計	71,084,813	0	0	71,084,813

財 産 目 録

2025年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	振替貯金 ：ゆうちょ銀行(10口座)	支払資金として使用	54,067,173
		普通預金 ：三井住友銀行麹町支店(3口座)	支払資金として使用	156,759,363
		定期預金 ：三井住友銀行麹町支店		30,064,278
		定額貯金 ：ゆうちょ銀行		10,000,000
	未収金	特定健診パンフレット・DVD著作権料 その他		457,350 21,660
	前払金	翌年度事務所賃料		627,495
		翌年度学術大会前払額		5,000,000
		翌年度研修・試験会場費等		2,367,806
		前払交通費		642,753
立替金	職員住民税等立替		238,800	
貯蔵品	機能評価認定プレート		3,480,400	
流動資産合計				264,253,088
(固定資産)				
特定資産	公的目的保有特定資産	定期預金：大和ネクスト銀行	運用益を公的目的事業財源として使用している (公益目的保有財産)	100,000,000
その他固定資産	建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室（共用財産） 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	1,806,114
	什器備品	ノートパソコン 7台	公益目的事業管理用PC（公益目的保有財産）	475,327
		パーソナルコンピューター関連	会員管理・事業管理用	562,342
		プリンター・複合機 3台	会員管理・事業管理用	316,971
	Web会議用備品一式	会員管理・事業管理用	27,786	
	電話設備	会員管理・事業管理用	631,987	
	その他備品	会員管理・事業管理用	122,959	
固定資産合計				103,943,486
資産合計				368,196,574
(流動負債)				
	未払金	経費等未払額		628,717
	未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		3,764,100
	前受金	次年度事業前受金		16,510,000
	預り金	社会保険料 その他		620,116 35,400
	賞与引当金	職員に対するもの	職員の翌年度賞与支給見込額のうちの当期対応額	6,680,501
流動負債合計				28,238,834
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,073,010
固定負債合計				5,073,010
負債合計				33,311,844
正味財産				334,884,730

附属明細書

１．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記２に記載している通りである。

２．引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
賞与引当金	6,633,380	6,680,501	6,633,380	0	6,680,501	
退職給付引当金	3,185,257	1,986,453	98,700	0	5,073,010	